



後援会 ご入会申込書

●ご紹介者

お名前 フリガナ	お電話番号
ご住所 〒 —	—

お名前 フリガナ	ご住所 〒 —	お電話号 —	ご関係 <input type="checkbox"/> 親類 <input type="checkbox"/> 知人 <input type="checkbox"/> 町内 <input type="checkbox"/> その他
T・S・H 年 月 日 フリガナ	早良区	—	
T・S・H 年 月 日 フリガナ	早良区	—	
T・S・H 年 月 日 フリガナ	早良区	—	
T・S・H 年 月 日 フリガナ	早良区	—	
T・S・H 年 月 日 フリガナ	早良区	—	
T・S・H 年 月 日 フリガナ	早良区	—	

※ご記入頂きました個人情報は厳重に管理し、第三者への開示・提供は致しません。

福岡市の元気! 早良区の元気!! みんなの元気!!!

ご連絡いただけましたら、受け取りにお伺いします。
FAXで送られる方は、(092) 822-8125

大森一馬後援会

後援会事務所

〒814-0022 福岡市早良区原1丁目2-25

TEL:(092)821-2075 FAX:(092)822-8125

E-mail: info@kazuma11.jp http://kazuma11.jp

謹賀新年

昨年は、長引くコロナ禍に加え、ロシアのウクライナ侵攻による原油価格の高騰や急激な円安など、厳しい状況が重なりました。6月議会では補正予算を取りまとめ、9月議会でも物価高騰対策を講じました。まだまだ十分とは言い切れませんが、そんな中でも、学校や地域で、また職場などで様々な工夫をしながら、コミュニティーを復活させ、経済をまわし、元気を取り戻そうと奮闘されている皆様に励まされて参りました。

11月には新型コロナ経口薬が特例承認され、新たな局面を迎えようとしています。引き続き「福岡の元気!」「早良区の元気!!」「みんなの元気!!!」の為に速行動で邁進して参ります。

皆様の長年にわたるご支援に感謝申し上げますとともに、今後益々のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

福岡市議会議員 大森 一馬

謹んで新年のお慶びを申し上げます

新春を迎え、まず皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げます。

また、ここ数年にわたる新型コロナウイルス感染症などにより、暮らしや仕事、子育て環境など、あらゆる分野で影響を受けた皆様に心からお見舞い申し上げます。まだまだ不安定な時だからこそ、速行動を掲げ、地域の身近な相談役として奮闘する大森一馬議員が必要だと実感しております。

いよいよ、今年四月の統一地方選挙で改選を迎えます。四期目に挑む大森一馬議員に、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

大森一馬後援会会長 金堀 雄二

福岡市の元気! 早良区の元気!!

みんなの元気



おおもり
かず
大森一馬

速

昨年は、生活環境委員会、少子・高齢化対策特別委員会、議会改革調査特別委員会、決算特別委員会などに所属し活動して参りました。中でも生活環境委員会、議会改革調査特別委員会では委員長の大役をいただきました。条例予算特別委員会では質疑に立ちましたので、その課題における福岡市の取組みについてご報告いたします。

プラスチックごみの分別回収について

福岡市は、来年度の新たな取り組みとして、区役所、市民センター等の市内9か所の回収拠点において、製品プラスチックの回収モデル事業を実施します。回収品目として、バケツ、洗面器、ハンガーなどプラスチック素材でできている製品で、家庭から排出されるものを予定しています。福岡市に適した回収、処理体制の構築に向け、スピード感を持って課題の整理や方向性の検討を進めます。さらに来年度より、使用済みのペットボトルを原料として新たなペットボトルを製造する、ボトルtoボトルリサイクルを試行します。ペットボトルリサイクル推進協議会の公表資料によると、使用済みペットボトルの多くはシートや繊維にリサイクルされており、ペットボトルにリサイクルされている割合は約2割程度です。ペットボトルから食品用トレイなど他製品へのリサイクルについては質の劣化を伴い、最終的には廃棄されるのに対し、ボトルtoボトルリサイクルは繰り返し再生利用が可能であり、一般的に化石由来資源の使用削減効果が大きいとされています。この事業は、市が回収したペットボトルの半分程度を対象に試行的に実施予定で、各家庭から回収した後のペットボトルの処分方法変更なので、皆様のペットボトルの排出方法に変更はありません。合わせて、公共施設への給水スポットの設置、指定ごみ袋のバイオマスプラスチックの導入などを実施することにより、プラスチックごみの削減、資源の循環的利用を推進し、温室効果ガス排出量削減をより効率的に進め、持続可能な社会を実現し、安心、安全な生活環境を将来に引き継いでいきます。

教員不足について

令和4年5月1日時点の福岡市の調査で、小学校144校、中学校69校のうち、教員不足は小学校はゼロ、中学校が59人となりました。教員不足は、大量の定年退職に加えて、児童生徒数の増に伴う通常学級や特別支援学級の増加、産休、育休取得者の増など必要な教員数が増加する一方、教員の志願者が減少していることなどが原因と考えられます。競争倍率は試験実施年度で令和元年度3.8倍、2年度2.2倍、3年度2.0倍と減少しています。市の対応として、短期的には、令和4年度、教員養成に係る連携、協力協定を締結した大学の学生を対象として、教育実習の学校長評価や大学からの推薦に基づく特別選考を実施します。さらに、本市の講師を対象に、勤務校における評価に基づく特別選考を実施することにより人物重視の選考をさらに推進し、より実践力の高い優秀な人材を確保します。中長期的には、教員が、仕事と家庭の

速

両立、働きながら出産や育児がしやすい環境整備を図ります。そして本来の教員の大切な業務である、授業の準備や子どもと向き合いきめ細やかな指導を行う時間を確保するため、部活動指導者やスクール・サポート・スタッフの拡充、学校の庶務事務の効率化を図るシステムの導入などにより教員の業務負担を軽減します。また高校生を対象に教員の魅力を理解してもらうようなPRにも取り組んでいくなど、教員の養成、採用の工夫、働き方改革の推進、福岡市の教員の魅力の積極的PRなど、志願者数を増やして質の高い教員を確実に確保できるようしっかりと取り組んでいきます。

子宮頸がん予防ワクチンについて

子宮頸がんは、女性の子宮の頸部にできるがんで、そのほとんどが性的接觸によるヒトパピローマウイルスの感染によって起こるとされています。最新の統計によると、日本では年間約1万1,000人が罹患し、約2,900人が亡くなっています。一方、子宮頸がん予防ワクチンの効果については、原因の50~70%を占める子宮頸がんを起こしやすいタイプのヒトパピローマウイルスの感染を防ぐとされています。子宮頸がん予防ワクチンは、平成25年4月、予防接種法に基づき市町村が公費負担で実施する定期接種の対象となりましたが、以降副反応の頻度等が明らかになり同年6月から長期間にわたって積極的推奨が差し控えられてきました。その後、令和3年11月、国の審議会において、最新の知見を踏まえ改めてワクチンの安全性について特段の懸念が認められないこと、接種による有効性が副反応のリスクを明らかに上回ることが認められ、引き続き、ワクチンの安全性評価や協力医療機関の体制強化を行っていくことなど、今後の対応の方向性も踏まえ再開が妥当とされました。福岡市でも、機会を逃した人へのキャッチアップ接種を含め、対象となる人に安心して接種を受けてもらえるよう、保健所などの相談窓口、協力医療機関、健康被害救済制度などの適切な情報提供を行い、関係機関と連携しながら定期接種をしっかりと推進していきます。合わせてキャッチアップ接種対象者の中で任意で接種を受けた方へ、不公平感がないよう償還払いの具体的な対応を検討しています。



* 定期接種の対象者 / 当該年度に12~16歳になる女子

* キャッチアップ定期接種(令和4年4月~7年3月実施)対象者 / 令和4年度に17~25歳になる女子

お願い

ご家族構成等にご変更がありましたら、大変お手数ですが、下記までお知らせ頂けますと幸いです。

TEL (092)821-2075 FAX (092)822-8125

連絡先 大森一馬後援会事務所 〒814-0022 福岡市早良区原1丁目2-25

